# 岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部第40回本部員会議

# 次 第

日時 令和3年9月9日(木) 16時00分から 場所 県庁12階 特別会議室

- 1 開会
- 2 議題
- (1) 新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について
- (2) 岩手緊急事態宣言について
- (3) その他
- 3 閉会

# 直近の感染状況の評価等

### <感染状況について>

- 全国の新規感染者数は、ほぼすべての地域で減少が続いているが、報告日別では、直近の1週間では10万人あたり約81と依然高い水準であり、未だに多くの地域でこれまでにない規模の感染者数の発生が継続している。年齢別に10万人あたりの感染者数をみると、10-40代の減少割合が高く、なかでも20代の減少が最も多い。これに比して、高齢の感染者の減少は小さいことには注意が必要。
- 新規感染者数の減少に伴い、療養者数は減少傾向となったが、重症者数は高止まりで、過去最大の規模が継続している。また、 死亡者数も増加傾向が続いている。多くの地域で公衆衛生体制・医療提供体制が厳しい局面が継続している。

実効再生産数:全国的には、直近(8/22時点)で0.87と1を下回る水準となり、首都圏では0.83、関西圏では0.97となっている。

## **<感染状況の分析【地域の動向等】>** ※新規感染者数の数値は、報告日ベースの直近1週間合計の対人口10万人の値。

首都圏 (1都3県)	東京では、新規感染者数は減少が続いているが、依然として約112で100を超える高い水準となっている。入院者数は20-50代を中心に高止まりし、70代以上の割合が増加。人工呼吸器又は人工心肺を使用している重症者は、50-60代が中心だが、70代以上で増加傾向が見られる。入院者数と重症者数は共に過去最高の水準だが減少の動きも見られ、療養等調整中数も減少が続いている。一方で、救急医療の受け入れなど一般医療の制限は継続している。 埼玉、千葉、神奈川でも、新規感染者数は減少に転じているが、それぞれ、約85、112、110で依然として高い水準。いずれも10-50代が中心。病床、重症病床の使用率は高止まりしており、厳しい状況が続いている。夜間滞留人口は、神奈川では足下で増加に転じているが、東京、埼玉、千葉では減少が見られている。
沖縄	新規感染者数は約212と全国で最も高い水準だが、今週先週比が0.74で、減少が継続。20-30代が中心だが、未成年の割合も上昇。重 症病床使用率は9割前後を継続し、厳しい状況が続いている。夜間滞留人口は、減少に転じている。
関西圏	大阪では、新規感染者数は減少が続いているが、約165と依然として100を超える非常に高い水準。20-30代が中心。入院者数と重症者数の増加が継続。夜間滞留人口はお盆明けから増加が続いており、感染の再拡大に留意が必要。滋賀、京都、兵庫でも、新規感染者数は減少が続き、それぞれ、約63、104、96。京都、兵庫では、入院者数が急速に増加。京都では、夜間滞留人口の減少が見られず、注視が必要。 その他、奈良では新規感染者数は減少に転じ、約83。和歌山では減少が続き、約39。
中京•	愛知では、新規感染者数の減少に転じているが、約144と依然として100を超える非常に高い水準。一方、岐阜、静岡、三重では減少が続き、それぞれ、約71、60、71。愛知、三重では、重症病床使用率が5割を超える水準。夜間滞留人口は愛知、岐阜、静岡では低い水準で推移。三重では減少に転じている。

# 直近の感染状況の評価等

北海道	新規感染者数は今週先週比が0.57で、減少が続き、約31(札幌市約46)。入院者数は減少傾向で、重症病床使用率は2割を切る水準が継続。夜間滞留人口は減少が続いている。
九州	福岡では、新規感染者数は、減少が続いているが、約91。入院者数は高止まりし、厳しい状況となっている。重症病床使用率は2割を切る水準。夜間滞留人口は減少に転じている。その他九州各県では新規感染者数の減少が続いており、佐賀、長崎では、重症病床使用率が2割を切る水準。
その他緊 急事態措 置対象地 域	宮城では、新規感染者数は減少が続き、約30。茨城、栃木、群馬では、新規感染者数は減少の動きが見られ、それぞれ約53、41、42。 岡山、広島では、新規感染者数は減少の動きが見られ、それぞれ、約51、50。岡山では病床使用率が5割を切る水準。
その他重 点措置対 象地域	福島、富山、石川、山梨、香川、愛媛、高知では、新規感染者数の減少が続き、それぞれ、約19、23、20、34、28、13、51。特に、石川、山梨、愛媛、高知では、重症病床使用率は2割を切る水準。

# 直近の感染状況の評価等

### く今後の見通しと必要な対策>

- 全国的にほぼすべての地域で感染者数の減少が続いている。感染場所として、飲食店や学校などの割合が減少し、自宅及び 事業所の割合が増加している。感染者数が減少している要因としては、多くの市民の感染対策への協力に加え、夏休み中の連 休やお盆の影響が減り、気温の低下など季節的な要因、ワクチン接種が現役世代を含めて進んできていること、さらには緊急 事態宣言・重点措置地域における人流の減少、情報効果による行動変容等が考えられる。
- 今後は、ワクチン接種率がさらに高まることも期待される一方、9月の連休や大学などの学校再開、社会活動の活発化、滞留人口の動向などもあり、感染状況を注視していくことが必要。このため、今後も、着実な感染の抑制につながるよう、家庭、職場、学校などにおける感染対策に加え、国と自治体が必要な取組を継続することが必要。
- ワクチンの効果もあり、死亡者数は、過去の感染拡大期と比べれば低い水準であるものの増加が続いている。高齢の感染者や 高齢者施設のクラスターの増加もあり、今後さらに死亡者数が増加することが懸念される。
- 依然として高水準の感染者数が続いており、引き続き、災害レベルの状況にあるとの認識での対応が必要。
  多くの地域で医療・公衆衛生体制の厳しい状況が続き、少なくとも一般医療が制限されない感染状況まで改善するために必要な対策を継続するとともに、医療体制の強化、保健所業務の重点化や支援の強化などが引き続き必要である。
- なお、地域の状況に応じ、対策の緩和を検討する際には、早期のリバウンドを避けるために、段階的な対応が必要。また、中長期的には、冬に向けて更に厳しい感染状況が生ずる可能性もあり、ワクチン接種の推進や積極的な検査の実施、中和抗体薬の活用など様々な取組を総合的に進めて行くことが必要。
- ★自分や家族の命を守るために必要な行動を

既にワクチンを接種した方も含め、市民は、自分や家族を守るためにも、外出はなるべく避けて、家庭で過ごしていただくことが必要。外出せざるを得ない場合も遠出をさけ、混雑した場所や時間など感染リスクが高い場面を避けること。引き続き、ワクチン接種を積極的に進めるとともに、少しでも体調が悪ければ検査・受診を行うこと。

### ★基本的な感染対策の徹底を

基本的感染防止策のほか、業種別ガイドラインの再徹底、職場での感染防止策の強化、従業員がワクチンを受けやすい環境(ワクチン休暇など)の提供、会議の原則オンライン化とテレワーク推進(特に基礎疾患を有する方や妊婦など)、有症状者は出社させず休ませることなどを徹底すること。

## ★最大限に効率的な医療資源の活用を

中和抗体薬の活用や、重症化に迅速に対応できる体制の早急な整備を進め、地域の医療資源を最大限活用して、必要な医療を確保することが求められる。さらに、今後も冬に向けて更に厳しい感染状況が生ずるという前提で、臨時の医療施設などの整備を含め、早急に対策を進める必要がある。

第40回本部員会議資料令和3年9月9日保健福祉部

## 新型コロナウイルス感染症に係る発生状況等について

## 1 岩手県の患者の発生状況及び検査状況

(1) 岩手県における患者の発生状況

9月9日 12時時点【入退院等の状況】

	内訳						
累計 患者数	入院数	うち 重症者	宿泊 療養中	退院• 療養解除	死亡者	入院等 調整中	
3,321人	171人	1人	127人	2,956人	50人	17人	
(+28)	(▲6)	<b>(▲1)</b>	(+5)	(+24)	(0)	(+5)	

#### ( )は前日からの増減数

医療圏別	患者数
盛岡	1,658 人
中部	616 人
胆 江	316 人
両 磐	189 人
気 仙	113 人
釜 石	51 人
宮古	198 人
久 慈	118 人
二戸	62 人
合 計	3,321 人

年代別	患者数
10歳未満	211 人
10代	349 人
20代	662 人
30代	529 人
40代	528 人
50代	412 人
60代	260 人
70代	185 人
80代	124 人
90歳以上	61 人
合 計	3,321 人

#### (2) 岩手県における新規患者数推移:

(単位:人)



#### (3) 岩手県における行政検査件数

(単位:件)

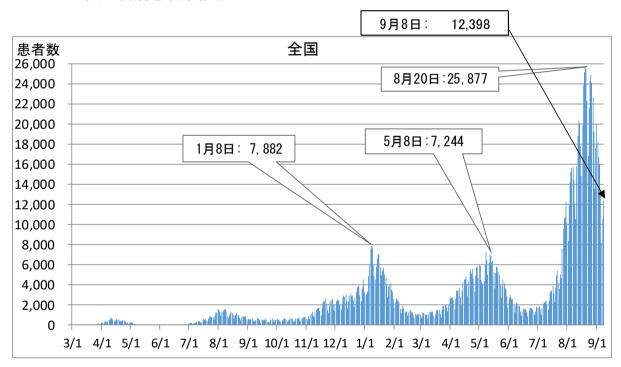
検査結果判明日	9/2 (木)	9/3 (金)	9/4 (土)	9/5 (日)	9/6 (月)	9/7 (火)	9/8 (水)	累計*
PCR検査(環保研)	63	33	30	37	8	119	57	28,568
PCR検査(民間)	277	383	307	99	521	481	252	56,161
抗原検査	200	171	137	39	84	256	180	28,007
合 計	540	587	474	175	613	856	489	112,736
ウイルス検出数	48	42	42	25	22	22	28	3,321

※累計:令和2年2月13日からの累計

## 2 患者数の推移

#### (1) 全国の新規患者数推移:

(単位:人)

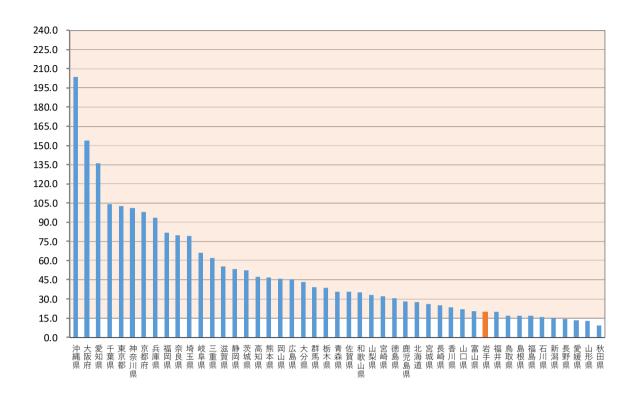


#### (2) 東北地方の新規患者数推移:

(単位:人)

県名	8月5日 ~ 8月11日	8月12日 ~ 8月18日	8月19日 ~ 8月25日	8月26日 ~ 9月1日	9月2日 ~ 9月8日	累計
青森県	219	319	507	680	445	4,937
岩手県	180	299	236	268	245	3,293
宮城県	719	1,304	1,611	1,121	596	15,488
秋田県	79	134	249	135	87	1,722
山形県	215	224	317	225	136	3,343
福島県	614	840	671	539	306	9,085

# (3) 直近1週間の新規患者数(対人口10万人): 9月1日~9月8日



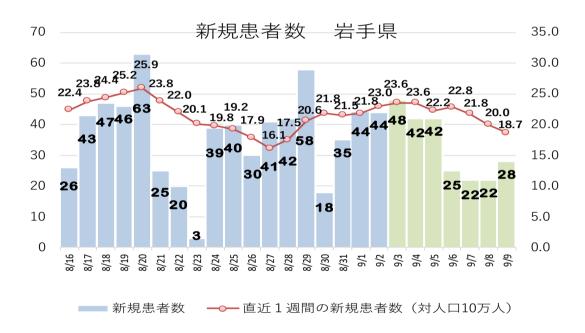
都道府県	10万人あたり患者数	茨城県	52.2	宮城県	25.8
沖縄県	203.7	高知県	47.3	長崎県	25.2
大阪府	154.0	熊本県	46.7	香川県	23.2
愛知県	135.9	岡山県	45.8	山口県	21.9
千葉県	104.0	広島県	45.5	富山県	20.4
東京都	102.6	大分県	43.0	岩手県	20.0
神奈川県	101.0	群馬県	39.0	福井県	19.8
京都府	97.8	栃木県	38.5	鳥取県	16.7
兵庫県	93.4	青森県	35.7	島根県	16.6
福岡県	81.8	佐賀県	35.7	福島県	16.6
奈良県	79.6	和歌山県	35.2	石川県	15.7
埼玉県	79.0	山梨県	33.0	新潟県	15.4
岐阜県	66.3	宮崎県	32.1	長野県	14.3
三重県	62.0	徳島県	30.6	愛媛県	13.4
滋賀県	55.2	鹿児島県	28.1	山形県	12.6
静岡県	53.2	北海道	27.6	秋田県	9.0

## 3 安定した状況からの立ち上がりを示す指標(岩手県)

#### (1) 発症日別陽性者数

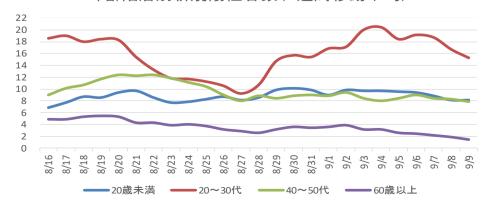


#### 【再掲】



#### (2)年齡階層別新規陽性者数

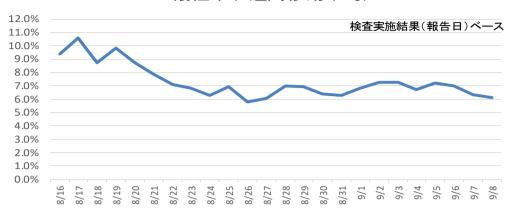
年齡階層別新規陽性者数(1週間移動平均)



4ページ

#### (3) PCR陽性率

PCR陽性率(1週間移動平均)



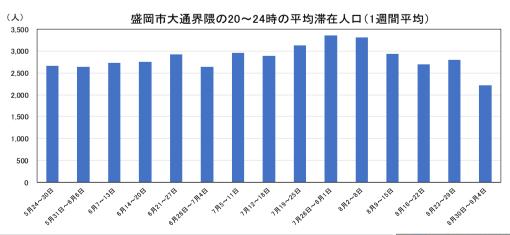
#### (4) 今週先週比(新規陽性者数)

今週先週比(新規陽性者数)



### (5) 歓楽街の夜間の人流

※8月30日~9月4日は6日間平均



【出典及び分析方法】 KDDI Location Analyzer(https://k-locationanalyzer.com/)

- ・滞在人口はauスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した<u>拡大推計値</u>である。未成年者・インバウンドは集計対象外。
- ・右の地図で囲んだ範囲(大通繁華街周辺、滞在時間60分以上)を抽出して集計を行った。



# 4 ステージ判断のための指標

## 9月9日時点

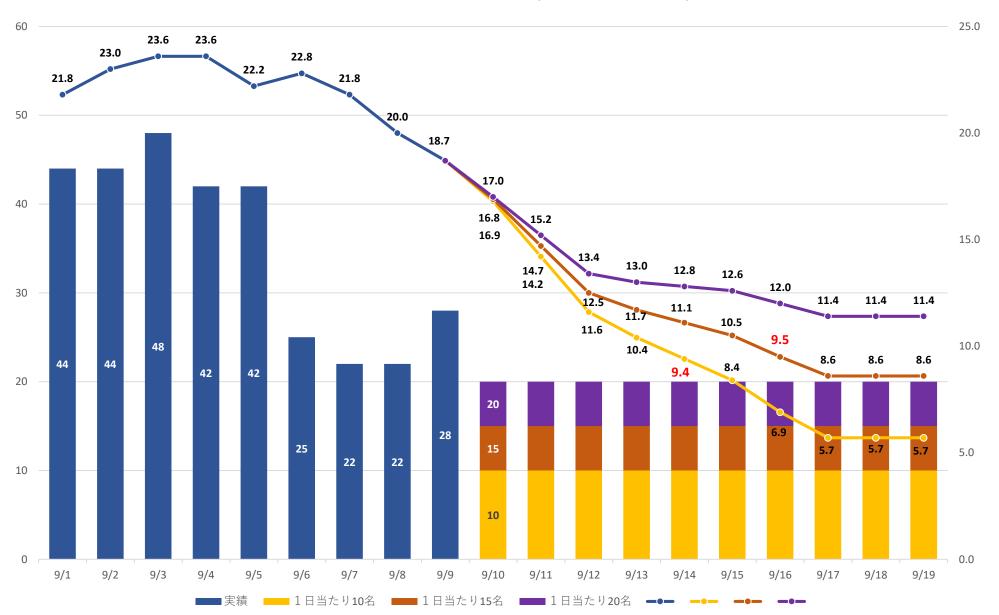
	指	標	岩手県	ステージIII の目安指標	ステージIV の目安指標	
	①医療のひっ	入院医療	確保病床の 使用率	48.9%(▲ 11.1) (171/350床)	20%以上	50%以上
医療提供		八阮达療	入院率 (入院者/療養者)	54.3% (▲ 4.4) (171/315人)	40%以下	25%以下
体制の 負荷		重症者用 病床	確保病床の 使用率	2.2% (▲ 4.4) (1/45床)	20%以上	50%以上
	②療養者数(対人口10万人)			25.7 人 (▲ 3.5) (実数315人)	20人以上	30人以上
	③PCR陽性率	③PCR陽性率(直近1週間)			5%以上	10%以上
感染の 状況				18.7 人 (▲ 4.3) (実数229人)	15人以上	25人以上
	⑤感染経路不明割合(直近1週間)			29.7% (+ 3.1) (68/229人)	50%以上	50%以上

<sup>※ ( )</sup>は、前週差。また、入院率は療養者数(対人口10万人)が10人以上の場合に適用。

# 【参考】感染状況のステージ(国分科会提言)

	ステージ Ι	ステージⅡ	ステージⅢ	ステージIV
感染状況の		供体制への負荷が蓄積する段階	供体制における大きな支障 の発生を避けるための対応	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能 不全を避けるための対応が 必要な段階

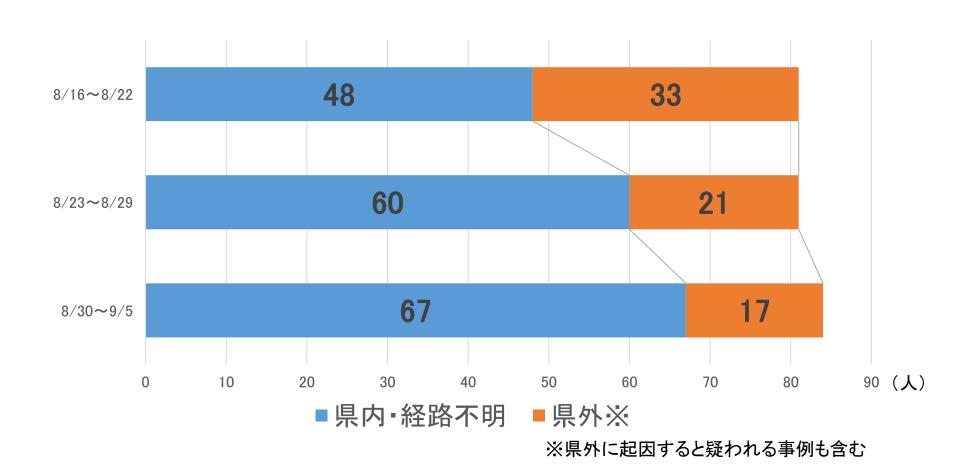
# 直近1週間の新規感染者数(対人口10万人)試算



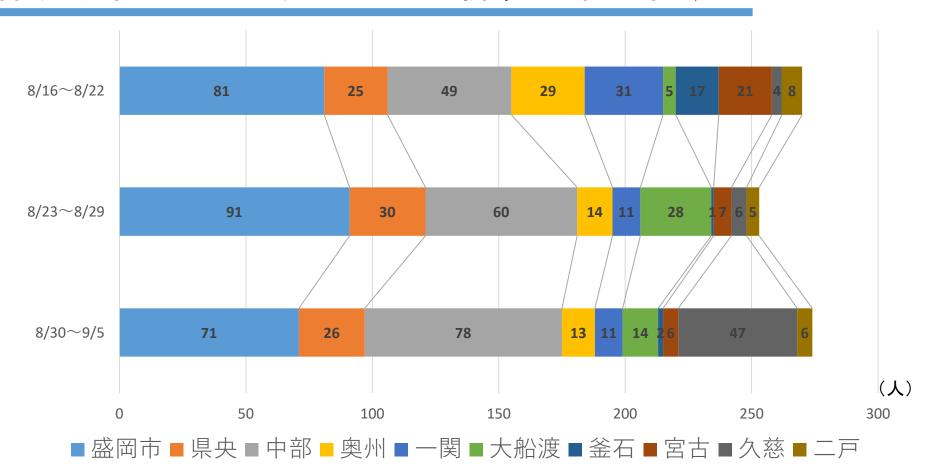
# 県内の感染状況について

# 初発患者の感染経路

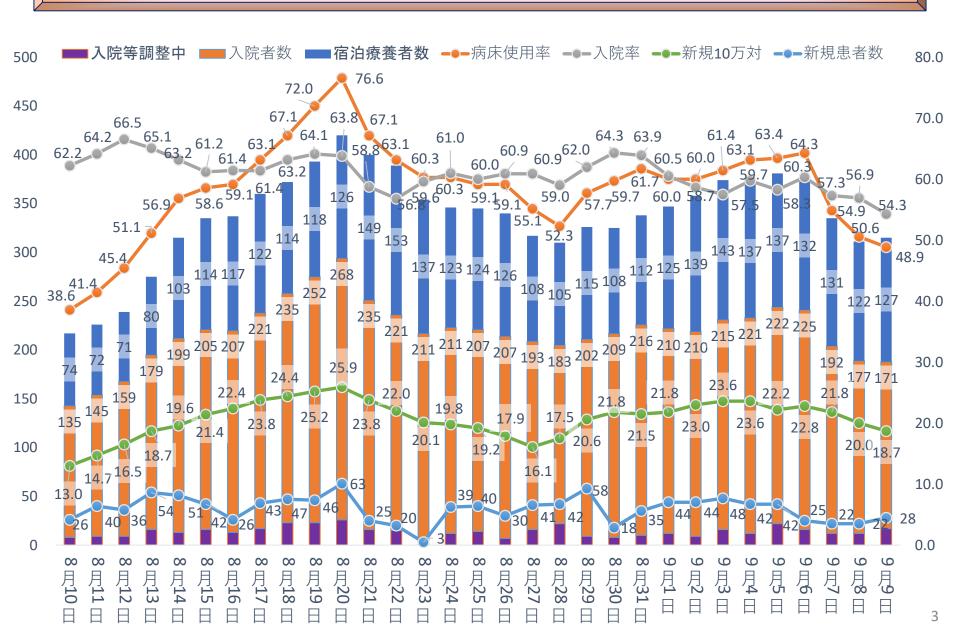
第40回本部員会議資料 令和3年9月9日保 健 福 祉 部



# 保健所管内別1週間当たりの新規感染患者数



# 各種指標の推移(岩手県・病床使用率等 R3.8.10~9.9)



# 学校における感染状況、対応(臨時休業、学級閉鎖等)

# 令和3年9月9日時点

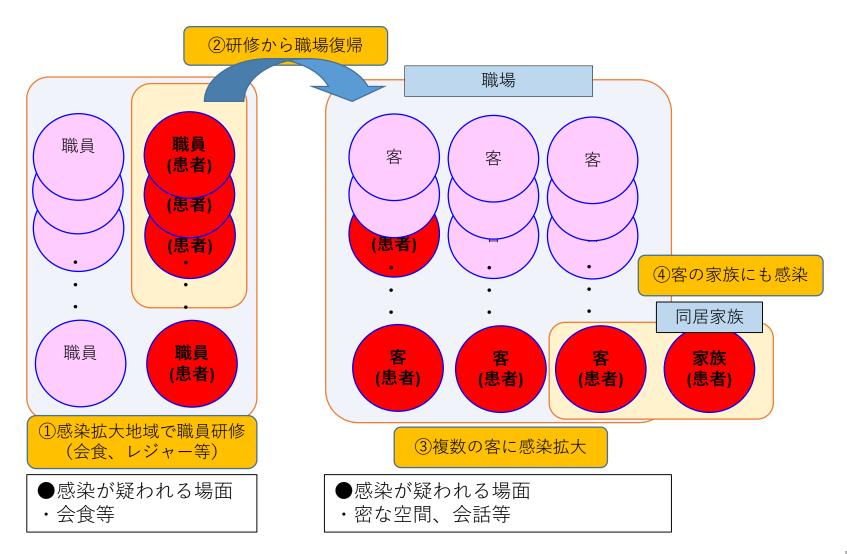
# 【感染者数】

区分	感染者数	うち、8/16以降	摘要
児童・生徒	259	97	全児童・生徒数:110,176人
教 職 員	41	8	全教職員数:10,094人
計	300	105	

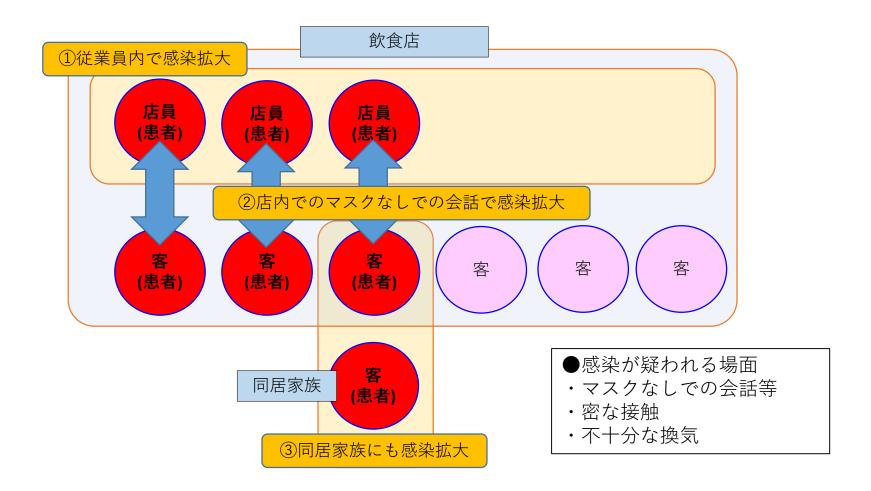
# 【対 応】

	X	分		学校数	うち、8/16以降	摘要
学	級	閉	鎖	13	7	
学	年	閉	鎖	9	7	
臨	時	休	業	68	20	
	<u>=</u> :	+		延べ90	延べ34	発生校数71校/全県学校数:513校

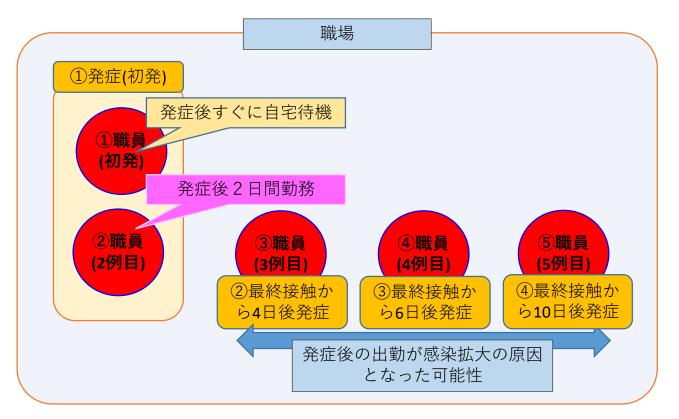
【事例1】出張・研修先で感染し、職場等で感染が拡大した事例



【事例2】マスクを使用しない酒席

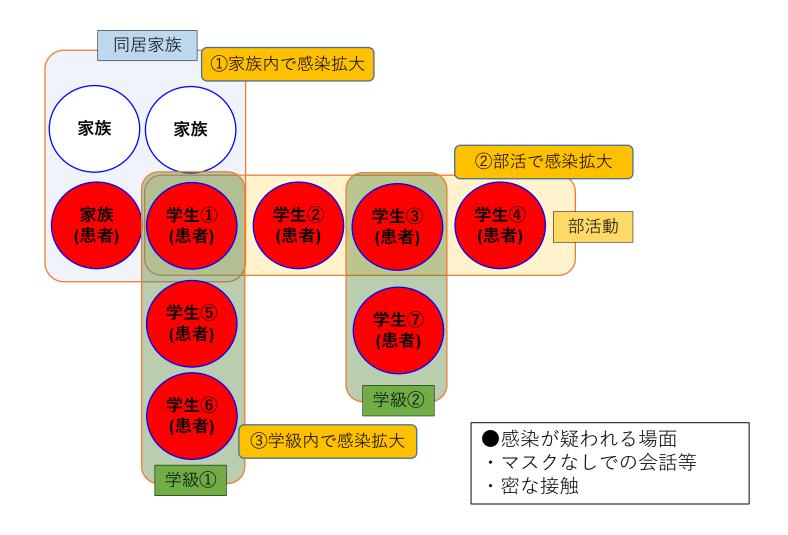


【事例3】症状があるにもかかわらず出勤



- ●感染が疑われる場面
- ・昼食時のマスクを外しての会話
- ・患者と同じ車に同乗等
  - ※ 勤務中のマスク着用、適度な換気、パーテーションの活 用等の対策は実施

【事例4】学校で発生したクラスター



# 岩手県内のクラスター確認例 令和3年4月~ ①

※ 複数圏域にまたがるクラスター(二次感染例含む。)は、起点となった圏域に計上

<u> </u>					
月	No.	区 分		保健療圏	患者 等数
	20	教育•保育施設1	盛	岡	61
	21	スポーツ活動1	両	磐	10
	22	スポーツ活動2	両	磐	8
	23	学校2	盛	岡	7
4月	24	スポーツ活動3	胆	江	9
4月 	25	職場7	胆	江	9
	26	飲食店4	盛	畄	14
	27	地域3	胆	江	19
	28	高齢者施設2	盛	畄	42
	29	医療施設3	両	磐	5
	30	高齢者施設3	胆	江	80
	31	学校3	岩手	中部	29
	32	地域4	盛	岡	21
	33	飲食店5	盛	岡	9
5月	34	教育・保育施設2	両	磐	15
	35	教育・保育施設3	岩手	中部	27
	36	職場8	盛	岡	7
	37	職場9	盛	岡	8
	38	学校4	盛	岡	13
	39	職場10	岩手	中部	11

<b>ゴ</b>	宮む。)は、起点となった圏域に計上					
	月	No.	区 分	二次 医療	保 <u>健</u> [ 圏	患者 等数
	5月	40	飲食店6	盛	岡	5
		41	職場11	盛	畄	9
		42	飲食店7	盛	畄	12
		43	飲食店8	盛	畄	6
		44	飲食店9	盛	岡	5
		45	飲食店10	盛	岡	14
		46	飲食店11	盛	岡	6
	6月	47	会合1	盛	岡	6
		48	飲食店12	盛	岡	8
		49	飲食店13	盛	岡	11
		50	飲食店14	盛	岡	8
	7月	51	飲食店15	盛	畄	5
		52	飲食店16	岩手	中部	32
		53	学校5	盛	畄	6
		54	地域5	岩手	中部	31
		55	教育•保育施設4	岩手	中部	18
		56	スポーツ活動4	盛	畄	12
		57	職場12	岩手	中部	52
		58	職場13		戸	10
		59	職場14	岩手	中部	8

# 岩手県内のクラスター確認例 令和3年4月~ ②

※ 複数圏域にまたがるクラスター(二次感染例含む。)は、起点となった圏域に計上

月	No.	区 分	二次份医療	R健 圏	患者 等数
	60	飲食店17	盛	岡	26
	61	店舗1	宮	口	48
	62	職場15	盛	岡	15
	63	飲食店18	胆	江	15
	64	職場16	両	磐	45
	65	飲食店19	胆	江	22
	66	スポーツ活動5	釜	石	19
	67	飲食店20	盛	岡	12
8月	68	学校6	盛	岡	18
	69	高齢者施設4	盛	岡	13
	70	学校7	岩手中	部	12
	71	スポーツ活動6	岩手中	部	17
	72	職場17	盛	岡	5
	73	職場18	盛	岡	5
	74	職場19	気	仙	29
	75	飲食店21	岩手中	部	15
	76	職場20	岩手中	部	8
	77	学校8	盛	岡	40
9月	78	職場21	盛	岡	6
	79	学校9	両	磐	7

月	No.	区 分	二次保健医療圏	患者 等数
	80	飲食店22	久 慈	26
	81	学校10	久 慈	12
	82	飲食店23	岩手中部	18
9月	83	飲食店24	岩手中部	7
ЭЛ	84	飲食店25	岩手中部	6
	85	職場22	岩手中部	6
	86	飲食店26	岩手中部	7
	87	教育•保育施設5	岩手中部	10

8月12日以降に確認

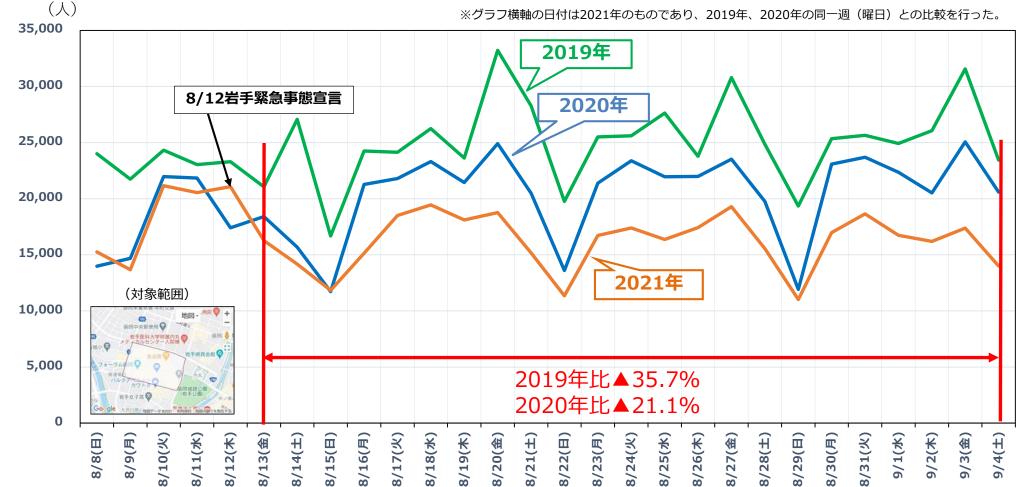
8月30日以降に確認

# 盛岡大通周辺における人流の動向について(来訪者数)

資料 2 - 2

岩手緊急事態宣言発令後(8月13日(金)~9月4日(土))の**盛岡大通周辺の来訪者数**をみると、**2019年比増減率**が▲**35.7%**、**2020** 年比増減率が▲21.1%と、人流は低い水準となっている。

#### 直近4週間の1日当たり来訪者数の推移(日単位)】 【図 1



### 【出典及び分析方法】KDDI Location Analyzer (https://k-locationanalyzer.com/)

<sup>・</sup>来訪者数はauスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した**拡大推計値**である。未成年者・インバウンドは集計対象外。

<sup>・</sup>上の地図で囲んだ範囲(大通繁華街周辺)を抽出して集計を行った。

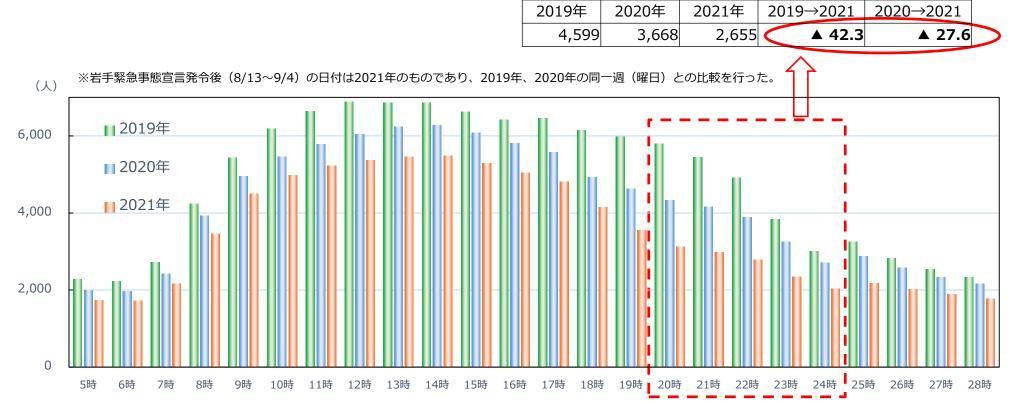
<sup>・</sup>集計に当たり、期間中に複数回来訪した人については、1日ごとに1人として集計している。

# 盛岡大通周辺における人流の動向について(時間帯別滞在人口)※岩手緊急事態宣言発令後

20~24時平均滞在人口(人)

**岩手緊急事態宣言発令後**(8月13日~9月4日)の**盛岡大通周辺の時間帯別滞在人口(期間平均)**をみると、全ての時間帯で2019年、2020年、2021年の順に人流が低い状態にある。**夜間**(20時~24時)については、**2019年比増減率**が▲**42.3%**、**2020年比増減率**が▲**27.6%**となっている。

#### 【図2 盛岡大通の時間帯別滞在人口(期間平均)※岩手緊急事態宣言発令後】



【出典及び分析方法】KDDI Location Analyzer (https://k-locationanalyzer.com/)

- ・滞在人口はauスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した<u>拡大推計値</u>である。未成年者・インバウンドは集計対象外。
- ・右の地図で囲んだ範囲(大通繁華街周辺、滞在時間60分以上)を抽出して集計を行った。

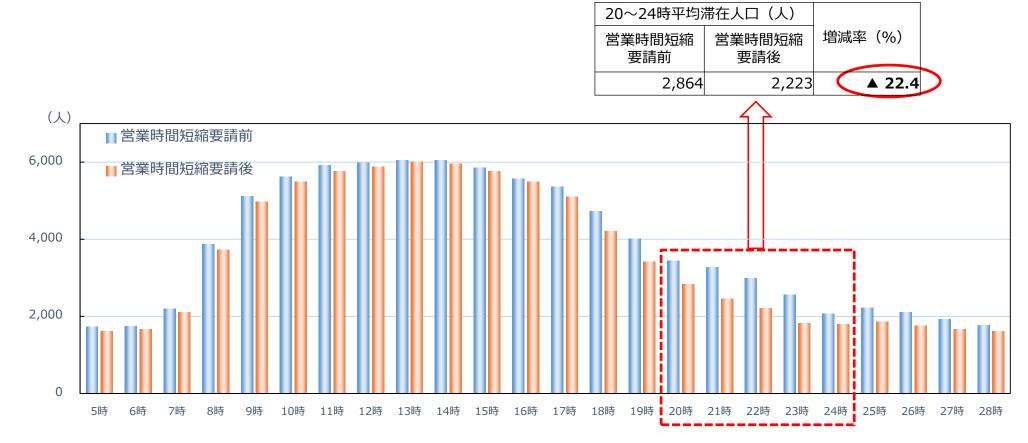


増減率(%)

# 盛岡大通周辺における人流の動向について(時間帯別滞在人口)※営業時間短縮要請前後

盛岡市における飲食店等の**営業時間短縮要請後(8月30日(月)~9月4日(土))の盛岡大通周辺の夜間(20時~24時)滞在人口(期間** 平均)を、営業時間短縮要請前(8月23日(月)~28日(土))と比較すると、増減率は▲22.4%となっており、人流は低い水準となっている。

#### 【図3 盛岡大通の時間帯別滞在人口(期間平均) ※営業時間短縮要請前後】



#### 【出典及び分析方法】KDDI Location Analyzer (https://k-locationanalyzer.com/)

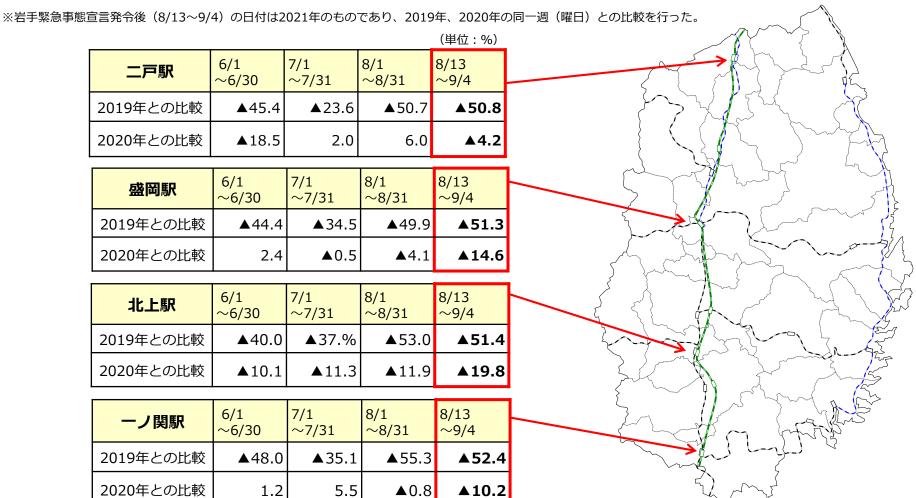
- ・滞在人口はauスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した<u>拡大推計値</u>である。未成年者・インバウンドは集計対象外。
- ・右の地図で囲んだ範囲(大通繁華街周辺、滞在時間60分以上)を抽出して集計を行った。



# 岩手県内の主要駅における人流の動向について

岩手緊急事態宣言発令後(8月13日~9月4日)の岩手県内の主要駅の来訪者数をみると、**2019年比増減率が▲50%台前半、2020年比増** 減率が▲4.2%~▲19.8%となっており、**人流は低い水準**となっている。

### 【表1 主要駅の1日当たり来訪者数の増減率の推移】



### 【出典及び分析方法】・KDDI Location Analyzer (<a href="https://k-locationanalyzer.com/">https://k-locationanalyzer.com/</a>)

- ・来訪者数は、auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計した<u>**拡大推計値</u>であ**る。未成年者・インバウンドは集計対象外。</u>
- ・各地点において、駅舎、駅前広場等を含む範囲を抽出して集計を行った。
- ・集計に当たり、期間中に複数回来訪した人については、1日ごとに1人として集計している。

# 直近の感染状況について

○ **直近1週間の新規患者数**については、8月12日に人口10万人当たり16.5人となり、8月20日には、 これまでの最高となる25.9人となった後、やや減少又は横ばいの状況となっており、急激な増加は 生じていない。

また、**県外に起因すると考えられる初発患者**については、8月第3週が33人だったものが、8月第5週には17人と減少している。

- **保健所管内別の1週間当たりの新規感染者数**については、8月第4週と第5週の発生状況を比較すると、盛岡市保健所管内が91人から71人と減少している一方、中部保健所管内が60人から78人、久慈保健所管内が6人から47人と増加している。
- **クラスターの発生状況**については、盛岡保健所管内では、8月30日以降、飲食店クラスターは確認されていない。一方で、県内各保健所管内で、飲食店、学校、職場でのクラスターが確認されている。
- **病床使用率**については、8月20日の76.6%をピークに、概ね60%程度で推移しており、直近では 48.9%と低下している。また、**入院率**は概ね60%で推移しているほか、**入院等調整中**も低い水準で 推移している。
- 県内主要駅における人流については、岩手緊急事態宣言発出後、2020年比で二戸駅▲4.2%、盛岡駅▲14.6%、北上駅▲19.8%、一ノ関駅▲10.2%と減少している。
  - また、岩手緊急事態宣言発出後の盛岡大通り周辺の来訪者数は、2020年比▲21.1%と低い水準で推移している。さらに、営業時間短縮要請後の20時~24時平均滞在人口は、要請前比▲22.4%と減少している。
- **盛岡市の飲食店への営業時間短縮要請後の経過**については、さらに感染状況を注視する必要があるが、1週間が経過した時点において、人流が減少したこと、飲食店クラスターが発生していないことが確認できる。

# 岩手緊急事態宣言における今後の取組

### 1 盛岡市の飲食店等への営業時間短縮要請の終了

- 盛岡市内の飲食店に起因する感染は発生していない。
- ・ 県内の直近1週間の新規感染者数(対人口10万人)が営業時間短縮要請前の25.9人を超すことなく感染の拡大は見られていない。
- ・ お盆期間や夏季休暇後の人流に起因するクラスターの発生リスクが低下した。
- ・ 病床使用率の急激な上昇を抑えられており、必要な病床が確保 できている。
- ・ 営業の自由を制限するような要請については必要最小限にすべき。

以上のことから、営業時間短縮要請は9月12日で終了することとする。

## 2 職場における感染対策

- ・ 事業活動の再開により、首都圏や中部圏などの感染拡大地域と の往来に起因する感染例が複数確認されている。
- ・ 商工業団体の会員事業所に対し、人と人との接触機会の低減と 感染対策の注意喚起を実施する。
- ・ 市町村と連携し、事業者に対し、職場の感染対策と従業員への 周知の徹底への協力を要請する。

### 3 学校における感染対策

- ・ 公共交通機関による通学での密を避ける必要がある場合、時差 通学を実施する。
- ・ 感染が確認された場合は、保健所と協議の上、学級閉鎖、学年 閉鎖、臨時休業を実施する。
- ・ 臨時休業となった学校については、オンラインによる指導を実施する。

### 4 県境地域における感染対策

- ・ 隣県の保健所と情報共有を行い、協力して県をまたいだ濃厚接 触者等の調査を実施し、クラスターの封じ込めを図る。
- ・ 感染拡大地域と接している県境地域では、道路情報板により、 都道府県をまたいだ不要不急の往来の自粛について呼びかけを 実施する。

## 5 ワクチン接種の加速化

- 11 月末までに希望する全ての県民へのワクチン接種を終える ことができるよう取組を進める。
- ・ 医療従事者の確保の支援やワクチンの市町村間の配給調整、県 による第2期集団接種の予約枠の拡大などにより、接種の加速化 を図る。

#### 新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言

(改訂) 令 和 3 年 9 月 9 日

令和3年8月26日 令和3年8月12日 岩手県新型コロナウイルス 感染症対策本部

#### 期間

令和3年8月12日から、岩手県の直近1週間の新規感染者数(対人口10万人)が10人未満となるまで。

#### 区域

岩手県全域

重点対策区域を削除

#### 1 県民の皆様へのお願い

#### (1) 外出の自粛等

- ・ 県民及び他の都道府県から岩手県に来県された方は、不要不急の外出を自粛すること。
- ・ 都道府県をまたぐ不要不急の帰省や旅行などを自粛すること。

重点対策区域の飲食店等への出入 自粛を削除

※不要不急の外出に該当しない場合(例)

・ 必要な職場への出勤

(医療・介護関係者をはじめ県民生活に不可欠なサービスの提供に係る業務 や、リモート対応が困難な業務による出勤 など)

- 通学
- ・ 医療機関への通院
- 親などの介護
- ・ 食料、医薬品、生活必需品の買い出し
- ・ 屋外での運動や散歩
- · 就職活動
- ・ その他(銀行、役所など、生活の維持のために必要なもの)

※特にも、中止や延期をしていただきたい事項(例)

- ・ 同居家族以外とのバーベキューや会食等
- 同級会、同窓会
- ・ 出張先、研修先での会食
- ・ 路上、公園等における集団での飲酒

#### (2) 基本的な感染対策の徹底

- 手洗い、常時マスク及び咳エチケットを励行する
- 適切な方法でマスクを着用する
- ・ ワクチン接種後もマスクを着用する
- ・ 近距離での会話や大声での発声等を避ける
- ・ 室内の換気、湿度の調節を心がける
- ・ 毎日の健康確認。体調不良時は外出を避け、電話相談の上で早期受診すること。
- ・ やむを得ない事情等により、他の都道府県から岩手県に来県された方は、来県後2週間 は、それまでにいた都道府県が要請している自粛等を継続すること\*\*。
- ・ 密閉・密集・密接の重なる三密の場面だけでなく二つあるいは一つだけでも感染リスク があることから、それらの要素を伴う会合等を回避すること。
  - ※ それまでにいた都道府県が要請している自粛等の継続 例えば、それまでにいた都道府県において、不要不急の外出・移動の自粛等 の要請が出されている場合、本県に来られた後も2週間は、引き続きその要請 等を守っていただくようお願いするものです。(一律に自宅待機などをお願いし

#### 2 事業所・飲食店・学校へのお願い

#### (1) 事業所

・ 従業員の健康状態を記録すること。

ているものではありません。)

- ・ 発熱等症状のある従業員は出勤せず、早期に医療機関を受診すること。
- ・ 昼食時、休憩時を含めて会話時のマスク着用を徹底すること。
- ・ 在宅勤務(テレワーク)、ローテーション勤務、時差出勤等により、人との接触を低減すること。
- ・ オンライン会議の活用等により、出張機会を低減すること。
- ・ 休憩室、更衣室においてもマスク着用を励行するとともに、密が生じないような過ごし 方を徹底すること。
- ・ 食堂、喫煙室では、マスクを外した会話とならないよう注意すること。

#### (2) 飲食店等

- ・ 飲食店等は、 自己点検の上、業種別ガイドラインの遵守を徹底すること。
- ・ 「いわて飲食店安心認証」の取得に取り組むこと。
- ・ 接待を伴う飲食店の利用者と従事者は、接触情報、連絡先情報を記録すること。

#### (3)学校

重点対策区域への要請(飲食店の営業時間短縮等)を削除

#### (県立学校)

- ・ 校外で行う活動(修学旅行、遠足、社会科の見学、体験活動等)については、外部との接触がある活動内容を見直し、適切な感染防止策を徹底すること。
- ・ 部活動は、県外の学校との練習試合に加え、県内の学校同士の練習試合も禁止とし、活動は校内で2時間以内(可能な限り短時間)とすること。
- ・ 文化祭等の学校行事は、校内限りとすること。
- ・ 公共交通機関による通学での密を避ける必要がある場合には、時差通学を実施すること。
- ・ 臨時休業となった学校については、オンラインによる指導を実施すること。

#### (市町村立及び私立の小学校・中学校・高等学校)

- ・ 県立学校の取組に準じて対応すること。
- ・ 感染が確認された場合は、県と連携して感染拡大防止を徹底すること。

#### 3 医療機関へのお願い

発熱等の症状のある方へ積極的に検査を実施すること。

#### 4 思いやりの気持ちと冷静な行動のお願い

- ・ 感染された方々やその家族などに対する差別、偏見、誹謗中傷は決して許されません。 相手を思いやる気持ちを持ち、冷静に行動しましょう。
- ・ 医療関係者をはじめ、県民生活に不可欠なサービスの提供に従事している皆様に、感謝 と思いやりの気持ちを持って応援してくださるようお願いします。
- ・ 新型コロナワクチンは、本人の意志に基づき接種を受けるものであり、職場や周りの方 への接種の強制や、接種を受けていない方への差別的な扱いをすることの無いようお願い します。

#### 5 岩手県の対策

- ・ いわて旅応援プロジェクトの停止
- ・ いわての食応援プロジェクトの停止
- ・ 事業者の支援
- ・ 商工業団体等への感染対策の徹底の働きかけ
- ・ 県主催イベントの原則中止・規模見直し等
- ・ 県施設の原則休館・利用制限等
- 医療提供体制の確保
- ・ 道路情報板による呼びかけの実施

附 則(令和3年8月12日策定) この宣言は、令和3年8月12日から施行する。

附 則(令和3年8月26日改訂) この宣言は、令和3年8月26日から施行する。

附 則(令和3年9月9日改訂) この宣言は、令和3年9月13日から施行する。

令 和 3 年 9 月 9 日 教 育 委 員 会 事 務 局

## 岩手緊急事態宣言後の学校の状況と今後の対応について

## 岩手緊急事態宣言(令和3年8月26日改 訂)以降の対応

基本的な 感染症対 策の徹底 ・手洗いや常時マスクの着用、換気、健 康観察、症状がある場合は休養するなど の感染対策を徹底

全県立学校で実施

教育 活動 文化祭等の学校行事は校内限り

【県立実施校】盛岡一、盛岡二、盛岡三、盛岡四、盛岡北、花巻北、黒沢尻北など14校(8/31 現在)

部活動

- ・県外に加え、県内校同士の練習試合も 禁止
- ・活動は校内で2時間以内

全県立学校で実施

時差 诵学 ・重点対策区域内の学校等は時差通学 を検討

【県立実施校】5校(盛岡一、盛岡三、盛岡北、 不来方、盛岡商)

オンライン 指導 ・オンラインでのショートホームルーム(S HR)や課題配信等の実施(保護者との 情報共有)

【県立高校のオンラインSHR】 全日制36校(58.7%) 【 県立高校のオンライン指導(例)】 授業配信、オンラインSHR等

市町村教 委との連 携 ・市町村立小中学校でも県立学校と同様 の取組を実施するよう検討を依頼

全市町村教委に協力依頼の通知を発出

感染確認 時の対応 ・保健所等と協議の上、学級閉鎖、学年閉鎖、臨時休業を実施

【公立学校の感染者数】

300人/県全体3,321人(9.0%)※9/9現在

うち児童生徒259人/全児童生徒110,176人、うち教員41人/全教員10,964人 【公立学校の発生校数】

71校/全県513校

学級閉鎖13校、学年閉鎖 9校、臨時休業68校(重複あり)

## 岩手緊急事態宣言下での今後の対応

- ・手洗いや常時マスクの着用、換気、健 康観察、症状がある場合は休養するなど の感染対策を徹底
- ・抗原検査キットの活用
- ・<u>9月以降に開催予定の</u>文化祭等の学校行事も校内限り
- ·外部講師による講演会等はオンライン で実施
- 県外に加え、県内校同士の練習試合も 禁止。
- ・活動は校内で2時間以内<u>(可能な限り</u> 短時間)
- ・公共交通機関による通学での密を避ける必要がある場合には、 時差通学を実施
- <u>・臨時休業となった学校については、オ</u> <u>ンラインによる指導を実施</u>
- ※オンラインSHRの試行を 100%にする
- ・感染が確認された際の、感染拡大防止に向けた市町村教委への指導・助言の 実施
- ※バックアップチームによる指導主事の派遣等
- 保健所等と協議の上、学級閉鎖、学年 閉鎖、臨時休業を実施





ワクチン接 種率 【県立学校教員のワクチン接種率】

61.5%

うち高校52.5%、 うち特別支援 80.7%

・県の第2期集団接種及び保健福祉部 と連携した市町村への働き掛け等により、教員のワクチン接種を促進

#### 新型コロナワクチン接種の進捗状況等について

#### 1 県内のワクチン接種の進捗状況

#### (1) 接種実績(9月4日時点)

接種済回数	1		県内の状況
汉层川口外	1回目	2回目	(高齢者接種については7月末をもって終了)
1, 225, 976	671, 955	554, 021	・県内の 12 歳以上人口約 111 万7千人のうち、 1回目接種は 60.2%、2回目は 49.6% が終了。

#### (2) 今後の接種見込み

- 8/23~8/29 の接種ペース(週6万5千回)が9月中も継続していくと仮定した場合、9月末時点で1回目接種率は70%程度、2回目は60%程度となる見込み。
- ・ また、県内に供給されるワクチンについては、10 月中旬までに 12 歳以上人口の 85%程度に2回接種するのに必要な量が供給される見通しとなっている。

#### 2 県による第2期集団接種の予約枠の拡大

県の第2期集団接種は、県民から予約について多くの問合せをいただいていることから、 ワクチン及び医療従事者を追加で確保し、集団接種の予約枠を拡大するもの。

#### 【予約枠の拡大規模】

拡大後の接種回数: 35,700回(17,850人)

増加分 : +10,600 回 (+5,300 人) **※約4割の増** 

#### 3 市町村支援の強化

- 11 月末までに希望する全ての県民へのワクチン接種が終わるよう、各市町村の状況 に応じた**ワクチンの配給調整**を行っているほか、県医師会、県歯科医師会等と連携し、 **医療従事者の広域派遣調整をこれまで4市町で実施**。
- ・ 今後においても、11 月末までの接種終了に向け、**接種の加速が必要な市町村**への**派 遣調整の実施や集団接種の共同実施**などにより、支援の強化を図る。

#### 4 県内の職域接種の状況(9/9現在)

職域接種について、本県では、9月9日時点で、承認があった21団体のうち3団体が接種を完了し、17団体が接種を実施中、1団体が10月上旬に接種開始予定となっており、接種が本格化している。

#### 5 学校クラスターへの対応

県では、9月8日に市町村に対し、地域の感染状況などから**学校の教職員等**への接種が必要と認められる場合は、**市町村の判断で早期の接種**を検討いただくよう通知した。 今後も**市町村と連携**し、**学校のクラスターの発生防止**に取り組んでいく。